

囲いやま森の会 活動記録

2007.10.21 野口 功

日 時： 2007.10.16 (火) 10～12時 天気： 晴

記録・写真： 山田幸子

観察記録

森の中で足元を良くみると、キノコが顔を覗かせています。囲い山ではほぼ1年中見られますが、キノコというとやはり秋の代名詞という感じがします。ロープワークの終了後、森を回ってみると沢山のキノコが見つかりました。

キノコとして見ている部分は、種でふえる植物でいうと花にあたり、子実体と呼ばれています。この部分に胞子があり、子孫を増やす働きをしています。地面の下には白い細い糸が絡み合って沢山あります。これはキノコの本当のからだで菌糸体と呼ばれています。

自然界ではキノコによって色々なものが分解され、森はきれいにお掃除されています。キノコは森のお掃除屋さんであり、森の妖精でもあります。ルーペを通してゆっくりと姿を眺めてみると、その繊細な美しさに改めて驚きを覚えることでしょう。

- 1) キクラゲは料理に使われ、独特の食感が楽しめますが、自然の中では枯れ木を腐らせるのが仕事です。
- 2) カワラタケは囲い山でも良く見ることができます。屋根がわらが重なったように木の上に生えています。
- 3) オチバタケの仲間は落葉の上にかわいらしく並んでいます。落葉を腐らせる働きをします。
- 4) ドクベニタケはとても鮮やかな紅色をしています。辛味が強く、食不可と記載されています。
- 5) ニガクリタケはしっとりとした硫黄色のかわいらしいキノコです。食不可、中毒をおこし死亡する場合もあります。

開花植物(草本)

ノゲシ・ハキダメギク・ツユクサ・アメリカイヌホウズキ・ベニバナボロギク・イヌタデ・ヤブマメ・オオバコ・カントウヨメナ・チヂミザサ・ノボロギク・セイヨウタンポポ・イノコズチ・ウシハコベ・エノコログサ・セイタカアワダチソウ・ヨモギ・ヤブガラシ・ミズヒキ

鳥 ヒヨドリ・コゲラ・シジュウカラ・メジロ・ハシブトガラス

昆虫 アオバハゴロモ

クモ ジョロウグモ・オオシロカネグモ

キノコ ヒビワレシロハツ・ドクベニタケ・ニガクリタケ・ツヤウチワタケ・カワラタケの仲間・オチバタケの仲間・ナラタケモドキ・ウラベニガサ・シロトマヤタケ・ツエタケ・チチタケの仲間・キアシグロタケ？

